

信州ウッドコーディネーターについて

県産材利用推進室

1 信州ウッドコーディネーターの取組状況について

県産材利用を進めるうえで、市町村においては林務行政の専門職員が不足していること、また製材工場においては規模の小ささや営業力の弱さが課題。

このため、県では木材のコーディネートや事業者間の連携を推進するため、県産材に精通した「信州ウッドコーディネーター」を派遣し、県産材の利用拡大を図っている。

2 R7 年度におけるコーディネーターの活動による成果（施設）

（1）町営住宅（北佐久郡立科町）

地域材を使用した町営住宅建築の相談を受けて、コーディネーターが材料調達等を支援。町産材で貰えない部分を県産材で調整したほか、材工分離発注※における調整を図り、全10棟の建築を支援



※ 建築工事において、材料調達と施工を分けて契約する方式

立科町 町営住宅

（2）木製舗装駐車場（東急リゾートタウン蓼科（茅野市）、伊那市役所（伊那市））

コーディネーターが東急グループに営業を行い、県産材による木製舗装が実現。伊那市役所にあっては、コーディネーターが木材の耐久性を高める加工技術をもつ会社と調整を行い、製品ラインナップになかったアカマツ（伊那市産）による木製駐車場を施工予定

（3）学校再編等における校舎の木造化・木質化

NSD (Nagano School Design) プロジェクトによる校舎の建替え等において、コーディネーターが設計受託者に営業を行い、設計段階から設計や材料調達を支援。若槻養護学校では、フローリング、壁板、造作材に県産材を採用

3 R7 年度におけるコーディネーターの活動による成果（イベント）

コーディネーターが中心となり、県内各地の木工家ら 18 事業者が製作した県産材製品等の展示販売を行う「つなぐ木のいのち展」を松本市 中町・蔵シック館で開催

令和7年10月18日・19日の2日間で1,000人超の来場者があり、椅子などの家具のほか、櫛などの伝統工芸品や匙などのカトラリー、木を薄く削って作る信州の木の花や木材等を原料にした精油など県産材の魅力を広く発信



県外客も来場し、盛況裡に開催



木べら(県産ヤマザクラ)の実演販売



信州の木の花



4 R6年度までのコーディネーターの活動による成果（施設等）

R2年度より、信州ウッドコーディネーターに係る事業を実施。

コーディネーターが自治体や企業への営業及び材料供給等のコーディネートを行うことで、姉妹都市の施設、木造ビル、店舗等での県産材利用に繋がっている。

主な県産材の採用事例及びそれに係るコーディネーターの取組は、以下のとおり。

① 千葉県流山市の小・中学校

- 信濃町の姉妹都市である千葉県流山市に対し、信濃町と協力して営業や材料調達等を支援
- 流山市の小・中学校の構造材等に信濃町産カラマツ製品が採用

② 神奈川県海老名市の学童机、スギ木製テント

- 須坂市の災害時相互応援協定先である神奈川県海老名市に対し、須坂市と協力して営業を実施
- 県産材カラマツ天板の学童机やウッドチェンジ事業で支援したスギ木製テント（CO屋）を斡旋（森林環境譲与税により海老名市が購入）

③ 東急駒澤大学駅西口ビル

- 木造化を推進したい都市圏企業に対し、営業や強度等の要求性能を満たした材料調達等を支援
- 駅ビルの柱材に県産カラマツ構造用集成材が採用

④ 長野市無印良品店舗

- 県内に店舗建築を行う企業に対して、営業やニーズに合わせた材料調達等を支援
- 店舗外壁に県産カラマツが採用（これが基本設計となり、他店舗にも展開）



① 千葉県流山市 小・中学校
(県産カラマツ LVL)



② 神奈川県 海老名市
(県産スギ 学童机、CO屋)



③ 東京都 東急駒澤大学駅ビル
(県産カラマツ耐火集成材（柱）)



④ 長野市無印良品 青木島店
(県産カラマツ外壁)

信州ウッドコーディネーター（Cood.）を活用してみませんか？

～県産材製品の営業力強化や事業者同士の連携体制構築を支援します！～



○Cood.（呼称：コーディ）ってどんな人？

県産材製品等に関する知識や木材の営業経験等を豊富に有しているほか、様々なスキルを有している人物を**9名**配置しています。

○どんなことをお願いできるの？

市場ニーズの把握、都市部自治体等への県産材製品PR、商談の場の創出、製品企画提案等に加えて、県内木材加工事業者の連携体制構築の支援（水平・垂直連携）や地域における木質バイオマス循環利用の仕組みづくりに関する施策への助言など、県産材の需要拡大に関することを幅広くお願いすることができます。

こんなことお願いできるの？ ということもお気軽にご相談ください。

相談窓口：長野県 林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室

（TEL 026-235-7266）

○費用はかかるの？

Cood.の活動に係る報償費・旅費については、**県が負担**します。

○いつまで活動できるの？

令和7年度は、**令和8年2月末日**まで活動可能です。

ただし、予算の状況により活動を終了する場合があります。

Cood.活動のイメージ

○水平連携の例

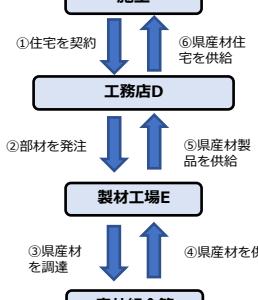


事業者間の契約・協定締結、連携体制をサポート

Cood.

○垂直連携の例

▶地域の工務店と製材工場が連携して、県産材を活用した住宅を供給



地域で木質バイオマスを
持続的に利用する仕組みづくり
へのアドバイス

情報の
フィードバック



県内木材加工事業者等



Cood.

営業活動
市場ニーズの把握

WOOD CHANGE®

信州ウッドコーディネーター(Cood.)一覧表

【敬称略】

番号	氏名	得意分野（一部の紹介）
1	陰山 恭男 (かげやま やすお)	都市部非住宅建築物における建築主への木造化マネジメント、認証材（信州カラマツ材）の上流から下流へのマネジメント
2	北村 俊夫 (きたむら としお)	中大規模木造構造物の設計等
3	香田 るい (こうだ るい)	県産材を活用した木工品の開発やコラボレーション及び情報発信等
4	佐藤 健太 (さとう けんた)	都市部自治体等への営業、川中と連携した県産材供給体制の構築等
5	島田 直政 (しまだ なおまさ)	木材流通業、建築工事業を中心とした営業、全国の木材事業者との情報交換等
6	鈴木 信哉 (すずき しんや)	全国の木材流通、製材業界の情報収集等
7	星川 嘉諒 (ほしかわ よしあき)	全国の木材商社への営業、県内外の製材工場への営業等
8	松本 寿弘 (まつもと としひろ)	JAS、信州木材認証製品等の認証製品等
9	宮崎 淳貴 (みやざき じゅんき)	県産材製品の情報発信、地域の様々な事業者との連携体制の構築等